

2023年3月24日
南海電気鉄道株式会社

「Meet ! Eat ! Beat ! で心を満たす体験を。」次代をつくるグレーターなんばビジョン
「**ENTAME-DIVER-CITY ~Meet ! Eat ! Beat ! On NAMBA~**」を策定
+---*---多彩なエンタメにあふれ、人を惹きつけ続ける街・なんばへ ---*---+

南海電気鉄道株式会社（社長：遠北 光彦、以下「南海電鉄」）では、「グレーターなんば構想」を加速させるべく、次代をつくるグレーターなんばビジョン「**ENTAME-DIVER-CITY ~Meet ! Eat ! Beat ! On NAMBA~**（**エンタメダイバーシティ ~ミート！イート！ビート！オン ナンバ~**）」を策定しました。

南海グループがなんばエリアで都市開発を開始して今年で90周年を迎えます。今後、大阪・関西万博開催、大阪 IR 開業などが控えており、特になにわ筋線開業については、南海沿線が国土軸と接続するなど、大阪経済への刺激となるさまざまな好機が訪れます。

2022年4月には「難波エリアの都市格を“エンタメ”と“ステイ”の力で高めるまちづくりビジョン」（以下、「公民協働ビジョン」）を地域・企業・行政・経済界との協働により作成し、公表しました。

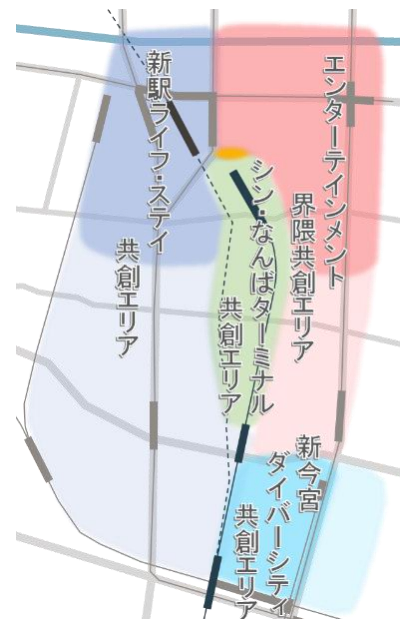
※詳細は2022年4月15日付報道発表をご参照ください：https://www.nankai.co.jp/library/company/news/pdf/220415_1.pdf

今回の新たなビジョンは、未来のなんばを考える機運がエリア全体で高まるなか、中期経営計画「共創 140 計画」で掲げる 2050 年の企業像の実現に向け、公民協働ビジョンの思想やなんばおよび沿線の街に対する誇りを礎に、南海グループが主体となって取り組むまちづくり宣言として策定しました。ビジョンに基づき、多彩なステークホルダーとの共創・街の魅力づくりを通じて、人を惹きつけ続ける次代のなんばを創っていきます。

ビジョンの概要は次ページのとおりです。



【ENTAME-DIVER-CITYイメージ】



【グレーターなんばマップ】

グレーターなんばビジョン サマリー

わたしたちが宣言するグレーターなんばビジョンは、5つの概念「ビジョン＝あるべき姿」「ミッション＝使命」「バリュー＝価値観」「ペルソナ＝来街者像」「アクション＝ビジョンの実行」で構成しています。

Vision

まちづくりビジョン

街なかの体験要素

わたしたちが社会に宣言する、グレーターなんば2050のあるべき姿

ENTAME—DIVER—CITY

—Meet! Eat! Beat! On NAMBA—

ビジョン実現に欠かせない3つの体験要素

Meet! = 出あう 人・モノ・コト・トキとの様々な出あい生まれる場づくり

Eat! = 味わう 大阪の食文化を味わう機会づくり

Beat! = 心弾む 出あいや味わいなどを紡いだあらゆる心弾む体験づくり

Mission

まちづくりミッション

わたしたちがなんばの来街者(=なんばフォロワー)に向けて果たすべき使命
なんばフォロワーへ心を満たす1日を創り・届ける

Value

まちづくりの価値観

わたしたちがなんばのまちづくりにおいて重視する3つの価値観

街の独自性を守る

人情味が息づいている

遊びゴコロがはじける

Persona

なんばの来街者像

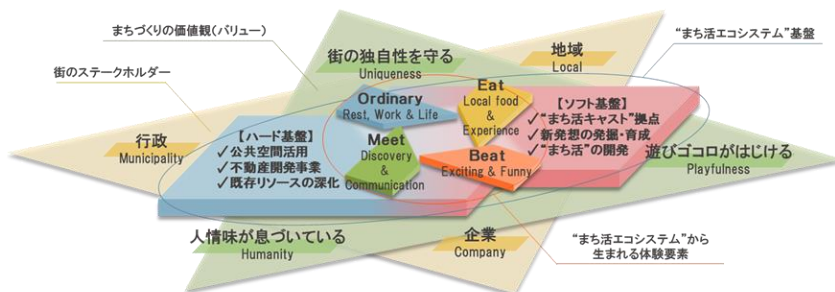
わたしたちが“心を満たす1日”をお届けする多様な来街者像



Action

まち活エコシステム

わたしたちがビジョン実現のために稼働させる“まちづくりの仕組み”



街のサステナビリティ
方程式

わたしたちが街の賑わいを持続させるために定義する“ビジョン実現の方程式”

来街人数
Number

X

滞在時間
Time

X

来街頻度
Frequency

X

情報発信
Promotion

1. ビジョン策定の背景

南海電鉄は、1885年の創業以来、なんばと南大阪・和歌山エリアを中心とした沿線を鉄道でつなげてきました。なんばは江戸時代以来大阪有数の繁華街として栄えてきましたが、1932年には現代大阪の都市軸となる御堂筋や地下鉄の整備に先駆けて南海ビルを建設し、当時先進的な“商い”の象徴となる百貨店の誘致を皮切りに、ターミナルシティ・なんばのまちづくりに取り組み始めました。



以降、大阪球場(1950年)[現:なんばパークス]、なんば CITY(1978年)の開業などエンターテインメントと商業空間の拡張を進め、街の商業とともに魅力を創ってきました。なんばパークス開業時には、屋上庭園「パークスガーデン」がなんばに居心地の良い都市空間を創出し、国土交通省大臣賞受賞(2005年度)や「世界で最も美しい空中庭園」の認定(2014年度)等、国内外から高い評価を得ています。

また、「伝統と先進」をテーマとした南海ビルの再生(2007年～)に着手し、歴史・文化の継承と新たな時代のニーズの両方に応えた更新をおこないました。

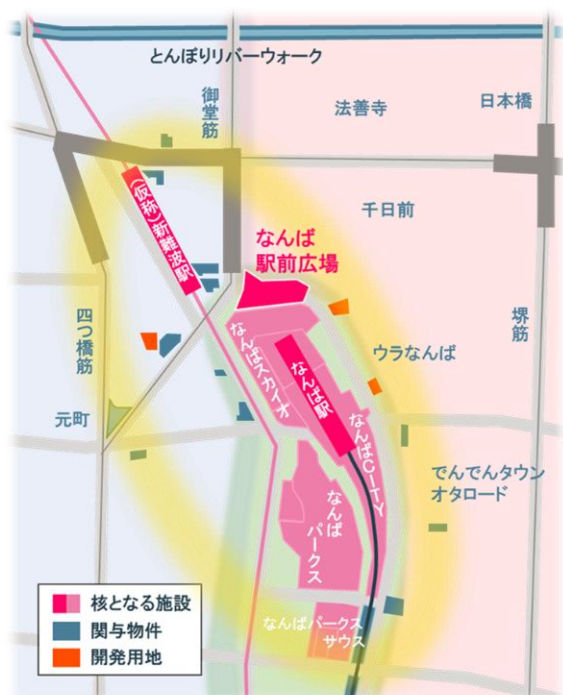


2010年代以降には、新たな都市機能の拡充を目指し、なんば駅前広場の歩行者空間化官民連携事業への参画(2011年)、とんぼりリバーウォークの管理(2012年～)、なんばスカイオの開業(2018年)等、官民連携を含めたハード・ソフト両面によるまちづくりを通じて難波エリアの魅力向上に取り組んでいます。

この先、国内の人口減少やVUCA(ブーカ)といわれる時代において、変化していく街のニーズに機敏に 대응していく必要があります。グレーターなんばビジョンは、なんばの街とともに歩んできた当社グループが、多様なステークホルダーとの共創の精神をもとに、変化への適応や挑戦する姿勢を中長期的に明確にするものです。

なにわ筋線の新駅開業を中間のマイルストーンに据え、今秋に完成予定の“なんば駅前広場”をトリガーとし、“新駅周辺”・“南海ターミナルエリア”の3つが核となるエリアを中心としたさまざまな取り組みをはじめとし、グレーターなんばエリア全体へと波及させていきます。

【グレーターなんば中核エリアマップ】



2. ビジョン名称

ENTAME-DIVER-CITY

-Meet! Eat! Beat! On NAMBA-

エンタメダイバーシティ -ミート! イート! ビート! オン ナンバ-

名称に込めた想い

「ENTAME-DIVER-CITY」

➡・来街者がなんばに求める、気持ちが高ぶる体験＝“エンタメ”

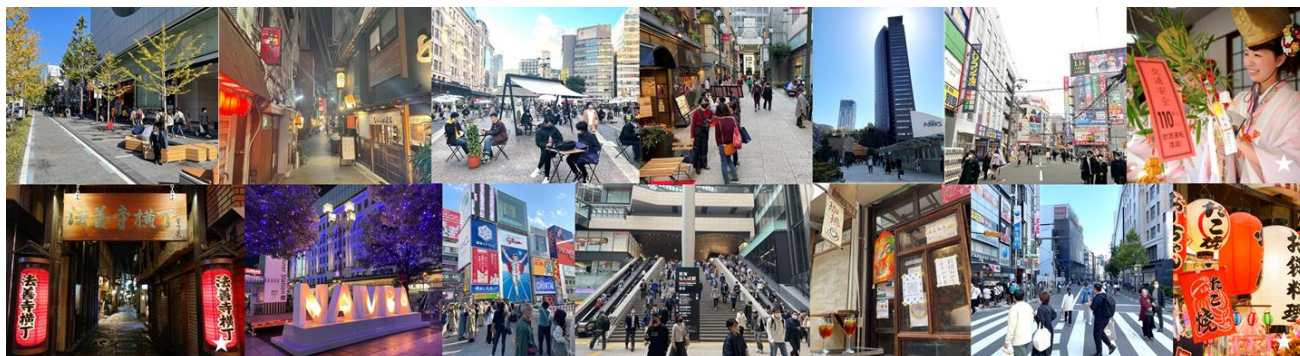
・個性ある商店街や大阪を代表する観光地など、徒歩圏内に広がる多彩な“街区の多様性”

・ライフスタイルや時代の変化による“来街者の多様性”

を強みとし、これらを融合させることで街の独自性とサスティナビリティを高めていきたい、という想いを込めています。

「～Meet! Eat! Beat! On NAMBA～」

➡・なんばの街を“劇場のステージ”に例えて、街なかで「出あう・味わう・心弾む」体験を通じて、来街者の心を満たしていきたいという想いを込めています。



【グレーターなんばの風景】

★印: © (公財) 大阪観光局

3. ビジョンに欠かせない体験要素

ビジョンの副題にある“Meet! Eat! Beat!”は、ビジョンを実現する上で欠かせないなんばの体験要素となります。

Meet! = 出あう 人・モノ・コト・トキとの様々な出あい生まれる場づくり

Eat! = 味わう 大阪の食文化を味わう機会づくり

Beat! = 心弾む 出あいや味わいなどを紡いだあらゆる心弾む体験づくり



「出あう」: 人・モノ・コトなどが集まる都心ターミナルの立地ならではの体験であり、出あいによる喜びづくりを意味します。

「味わう」: 観光・レジャーや暮らしにおいて欠かすことのできない“食”時間の楽しみづくりを意味します。

「心弾む」: 興奮や感動、日常の抑揚をつける体験、「出あう」「味わう」と融合した体験づくりを意味します。

4. まちづくりミッション

なんばフォロワーへ心を満たす1日を創り・届ける

南海電鉄がなんばのこれからのまちづくりにおいて果たすべき使命は、
「なんばに訪れる・過ごすすべての人(=なんばフォロワー)へ、心を満たす体験を届ける」ことです。

帰りの電車や寝床で1日を振り返ったとき・・・

「なんか分からんけどおもしろい1日やったな。また今度行こうか。」



「今回懇親会で行ったお店、味も雰囲気もよかったから、
“自分のいい店リスト”に加えて今度友達を連れてこよう」



なんばフォロワーがこのように思えるような「推しの街」・なんばを目指します。

地域団体・行政・企業など南海グループのビジョンに共感いただける皆さまとの共創アクションを仕掛けることで、「推しの街」とする人々の増加をねらいます。

(※)推しの街: 人に勧めたいと思うほどに好感を持ち、「普段から度々訪れている」「意図的に訪れる機会をつくっている」「街の魅力や価値を SNS などで能動的に発信する」などの対象になっている街のこと。

5. 3つの価値観

街の独自性を守る

人情味が息づいている

遊びゴコロがはじける

南海グループがまちづくりを進めていくあたり、重視すべき3つの価値観(バリュー)を定めました。グレーターなんばの創造においては、今後これらの価値観に基づいた各種施策に取り組んでまいります。

① **独自性**: なんばらしさを守ること。南海グループが考える“なんばらしさ”とは、独自の風景が徒歩圏内に広がっていること。また、鉄道ターミナルの特徴として各鉄道沿線との関わりが深い、ことなどが挙げられ、これらを良き点として守り続けます。



©(公財)大阪観光局

② **人情味**: 一般的な大阪のイメージとして、フランクな人柄がにじみ出ている街として認知されています。

エネルギッシュな人々の笑顔や活動が見えること、刺激的なのにどこかホッとするなど、「人が主役たる街」として、「親しみ」や「寛容さ」などといった心理的安全性を感じる人情味が引き続き息づいている状態を目指します



③遊びゴコロ：次代のなんばを創るため、歴史や文化の蓄積に新規性を融合させた遊びゴコロ豊かな新たな魅力づくりを、地域・行政・企業・“担う人”など、多彩な共創パートナーとともに創ります。



6. 多様な来街者像と届けたいシーン

【なんば来街者のペルソナ】



長らく歓楽街として栄え、遊びに来る人・観光客などの“訪れる人”が中心であったなんばですが、近年、ニーズの変化に伴い“働く人”“くらす人”が増え、多様なライフスタイルを持つ来街者が過ぐす街となっています。

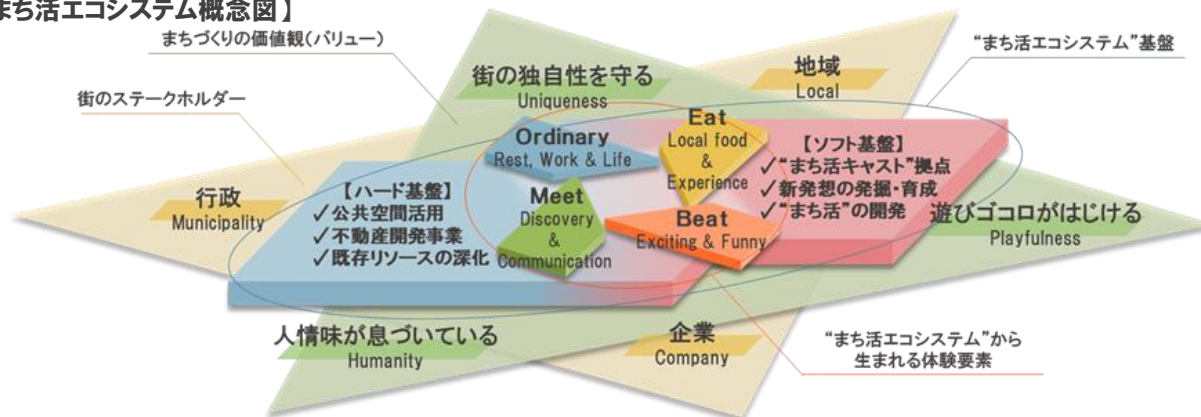
ENTAMEーDIVERーCITYでは、来街者ごとの異なるニーズに応えるべく、それぞれへ「届けたいシーン」を想定しました。

来街者属性の中で、本ビジョンの重要人物になるのが、“担う人”の存在です。なんばエリアの価値向上に資する取り組みを“担う人”とともに推進していく考えです。

7. ビジョンの実現について

価値観（バリュー）に基づき、地域・行政・企業などの街のステークホルダーとともに“まち活エコシステム”を稼働させることで、ビジョンの実現を目指します。

【まち活エコシステム概念図】



(1)“まち活エコシステム”

なんばが“推しの街”として選ばれ続けるサステナブルな街となるために、“まち活エコシステム”を構築します。街のステークホルダーと互いに協力し、まちづくりの価値観に基づいた施策を打ち出すことで「来街人数」「滞在時間」「来街頻度」の増加をねらいます。

【グレーターなんばビジョンにおける言葉の意味】

“まち活エコシステム”：街のサステナビリティを保つことを目的とした仕組み

“ま　　ち　　活”：街を生き活きとさせるあらゆる活動

“まち活キャスト”：“まち活”をする人のこと

(2)“まち活エコシステム”の構成

まち活エコシステムは、ハードとソフトの両輪を基盤として稼働させます。ハード基盤は、鉄道・オフィスビル・ショッピングセンターなどの当社既存リソースの深化に加え、新駅周辺をはじめとした不動産開発事業やなんば駅前広場等の公共空間の活用などにより、まち活の“場”を形成します。ソフト基盤は、ターミナルエリア内に“まち活キャスト”との共創活動拠点を整備し、リアルとデジタルの両分野における新発想の発掘、まち活キャストの育成、まち活の開発を進めるなどにより、まち活の“中身”を形成します。

(3)共創で生み出す新たなまち活　－#Meet, #Eat, #Beat & #Ordinary－

“まち活エコシステム”を稼働させることによるまち活の施策例として、ウォーカブル観光メニューの造成（#Meet）、鉄道をはじめとした南海グループのリソースを活用した地縁豊かな食体験づくり（#Eat）、eスポーツで味わう熱狂と興奮（#Beat）など“エンタメ”の要素、単身者や外国人の日常を支援するサービスや企業の成功を支援するワークスペースの整備（#Ordinary）等に取り組みます。

これらのまち活をグレーターなんばで十分に展開させるための受け皿づくりとして、複合的な不動産開発を推進します。また、中長期的に未来のニーズに応える新たな“まち活”を探索し続けます。なお、具体的な施策は改めてお知らせします。

“エンタメ”“街区の多様性”“人の多様性”という3つの強みを生かし、多様なライフスタイルを持つ人々（働く人・くらす人など）にとっても楽しめる街、将来的にはすべての来街者が自由に“まち活キャスト”になれる街を目指します。

(4)街のサステナビリティ方程式

$$\begin{array}{ccccccc} \text{来街人数} & & \text{滞在時間} & & \text{来街頻度} & & \text{情報発信} \\ \text{Number} & \times & \text{Time} & \times & \text{Frequency} & \times & \text{Promotion} \end{array}$$

“まち活エコシステム”の稼働により増加をねらう「来街人数」「滞在時間」「来街頻度」に、効果的な「情報発信」を掛け合わせることで、なんばのにぎわい持続を目指します。これが南海グループの考える街のサステナビリティ方程式です。



【2050年のなんばの過ごし方イメージ1】



【2050年のなんばの過ごし方イメージ2】

【参考】グレーターなんばにおける直近の取り組み

リリース内 容	リリース 時期	概要	イメージ
大阪・なんばの 冬の風物詩 なんばエリアで イルミネーション 「なんば光旅」開催	2022 年 11 月	今回で 11 回目となる冬の風物詩。夜のなんば駅周辺を光で彩ります。 大阪光の饗宴や大阪ミナミ光マッセ！とも連携し、地域一体となり光でまちを盛り上げます。 なんばパークス AR 体験プログラムを実施し好評を得ました。 https://www.nankai.co.jp/library/company/news/pdf/221101_1.pdf	
プロ e スポーツチーム 「ENTER FORCE.36」 が大阪に本拠地を 移転！	2023 年 1 月	地域活性化や後進の育成(教育分野)等により、地元 roots 大阪のプロ e スポーツチームチームとして、世界での活躍を目指します。 https://www.nankai.co.jp/lib/company/news/pdf/230113_1.pdf	
【なんばパークス】 新たに 26 店舗が 順次オープン！ ～グランドオープン 15 周年記念 リニューアル～	2023 年 2 月	開業 15 周年を機に「気持ち高ぶる、ワンデイトリップ」をコンセプトとし、豊かなコミュニケーションの場の提供、多様化するニーズやウォンツを満たすための機能を兼ね備えた商業施設を目指します。 https://www.nankai.co.jp/lib/company/news/pdf/230216.pdf	
きっと、あなたも、 なんばで働きたくなる！ 「なんばワークスタイル」 配信開始！	2023 年 2 月	働く人にとって、オフィス機能だけではない、“楽しむ”“ワクワクする”時間を過ごすことのできる、ワークとライフをシームレスに共存させた「なんばらしい働き方」の魅力をお伝えしていきます。 https://www.nankai.co.jp/lib/company/news/pdf/230220.pdf	
新街区 「なんばパークス サウス」 が誕生！ ～日本初進出の 高級ホテルや SHOPS & RESTAURANTS など～	2023 年 3 月	複数の事業者との共創で実現した開発プロジェクト。ホテル 2 棟・オフィス 1 棟と各店舗からなる新たなエリアができることで、なんば南エリアのにぎわいづくりとなんばエリア全体の回遊性向上を目指します。 https://www.nankai.co.jp/lib/company/news/pdf/230301.pdf	
JA 直売所の とれたて農産物を 大学生が運び 難波駅で販売！ 貨客混載を活用 した実証実験	2023 年 3 月	沿線の直売所等と連携し、地元農産物を鉄道の貨客混載で運び、なんば駅で販売する実証実験を実施。当社リソースを活用した物流改善と新たな販路開拓、地産地消の促進により、沿線農業の更なる活性化を目指します。 https://www.nankai.co.jp/lib/company/news/pdf/230302.pdf	
“世界を惹きつける 人中心の広場” なんば駅前広場 完成	2023 年 秋頃 (予定)	地元発意で 2008 年より取り組んできた官民連携の道路空間再編プロジェクト。 なんば駅前広場を大阪のおもてなし玄関口としてふさわしい“世界を惹きつける人中心の広場”へと改造します。 街とともに上質で居心地よい空間を創出し、万博や観光で訪れる来街者をお迎えします。	

南海電鉄は、SDGsへの取組みを強化しており、関連するニュースリリースに「SDGsの目標アイコン」を明示しています。

今回ご案内の取組みは、8番、9番、11番、17番に繋がるものです。

